

撮影における感染症対策ガイドライン

(NPO 法人フィルムコミッション富士)

- 手指と設備の衛生を保つための消毒液を用意する。
- スタッフ全員の氏名、連絡先のリストの提出をする。
- 検温については撮影前日及び当日撮影開始前にスタッフ全員に施行すると共に、撮影中は3～4時間毎に1度スタッフ全員の検温を実施する。
- 作業中スタッフはマスクの着用またはフェイスシールドの着用を義務とし、定期的に手指の消毒もする。
- 地元の方とは、出来るだけ不要の会話など接触を避け、必要な場合は2m以上の間隔を維持する。
- 撮影終了後、使用箇所の原状復帰に加え、隅々まで消毒をする。
- 37.5℃以上の熱が関係者から出た場合、または感染症と思われる症状がみられる場合は、適切に対応し、撮影中であってもその時点で富士市内での撮影は中止します。
- 突発的に静岡県内で感染症拡大が懸念される事態がおきた場合、静岡県または富士市からの要請に従います。

富士市内で撮影を行うに際して、上記の条件に同意します。

令和 年 月 日

作品タイトル _____

団体名 _____

住所 _____

代表者名 _____ 印

連絡先 _____